

行動科学・実装科学セミナー

令和5年度第8回実装科学セミナー

演者： 国立がん研究センター がん対策研究所
サバイバーシップ研究部行動科学研究部 部長

内富庸介先生

演題：Patient-Reported Outcome (PRO) を
現場で使う前に少し考えてみよう

日時 2024年2月21日(水) 16:00 ~ 17:00

開催方法 Web会議システム (Zoomミーティング)

参加申込 <https://forms.office.com/r/kM2G2dXQqR>

参加申込メ切 2024年2月21日(水) 17:00
(セミナー終了時まで)



講師プロフィール：

広島大学医学部卒業。地域精神医療8年、大学8年間を挟んで、国立がん研究センター（柏15年、築地9年）。Psycho-Oncology: Human Side of Cancerを理念に終わらせず、社会に根付かせることを目指している。

セミナー要旨：

患者のこころを医療に反映させることは容易ではないが、積極的に取り入れようとする試みは時代とともに増加している。苦痛を誰が測定するのか、リアルに測れるのか、もっとも苦痛なものは何か、経験を交えPROの基本を紹介し、後半、意見交換を通して認識を深めたい。

主催：国立がん研究センターがん対策研究所 行動科学研究部／サバイバーシップ研究部

N-EQUITY (健康格差是正のための実装科学ナショナルセンターコンソーシアム*)

*国立高度専門医療研究センター医療研究連携推進本部 (JH) 横断的研究推進費
「実装科学推進のための基盤構築事業」による活動

共催：RADISH (D&I科学研究会)、J-SUPPORT (日本がん支持療法研究グループ)

早稲田大学人間科学学術院

問い合わせ：国立がん研究センター がん対策研究所 行動科学研究部 実装科学研究室 島津・齋藤
メールアドレス: impsci-sem@ml.res.ncc.go.jp